



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

## 《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

	MLP		米国株		米国REIT		米10年国債利回り	WTI原油先物(ドル/バレル)	ヘンリーハブ天然ガス先物(ドル/百万BTU)
	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り			
2023年12月29日	1,886.43	7.47%	10,327.83	1.48%	23,923.60	3.97%	3.88%	71.65	2.51
2024年1月31日	1,970.03	6.81%	10,501.38	1.46%	22,760.79	4.22%	3.91%	75.85	2.10
前月比	4.4%	-0.66%	1.7%	-0.02%	-4.9%	0.25%	0.03%	5.9%	-16.5%
前年比	24.0%	-0.33%	20.8%	-0.16%	-3.7%	0.57%	0.41%	-3.8%	-21.8%

(出所)ブルームバーグ

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

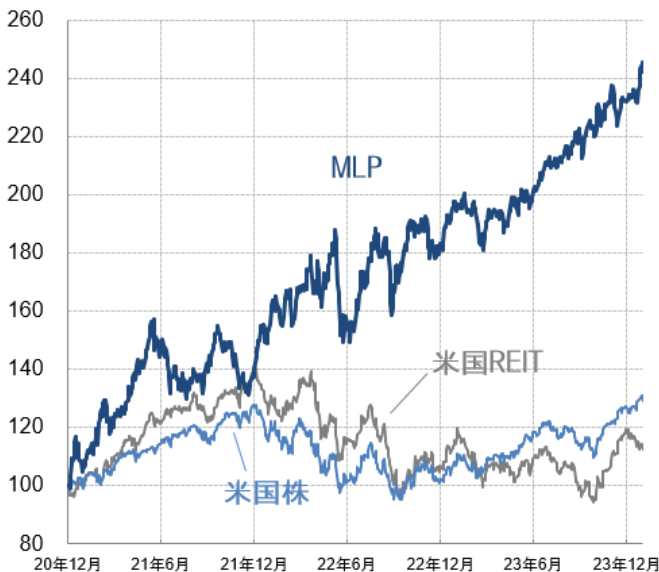
## 《先月の米国MLP市場の動き》

- 1月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、前月末に比べて上昇しました。
- 上旬は、中東紛争の拡大を巡る緊張を背景に原油先物価格が底堅く推移する中、MLP市場は小幅に上昇しました。
- 中旬は、週間の米石油在庫統計で原油在庫が市場予想よりも減少したことなどから原油先物価格は上昇したものの、米欧の中央銀行当局者から市場の利下げ観測をけん制する発言が相次ぎ、投資家のリスク選好色が後退したため、MLP市場は下落しました。
- 下旬は、紅海周辺の治安悪化への警戒感などを背景に原油先物価格が上昇し、MLP市場も水準を切り上げました。

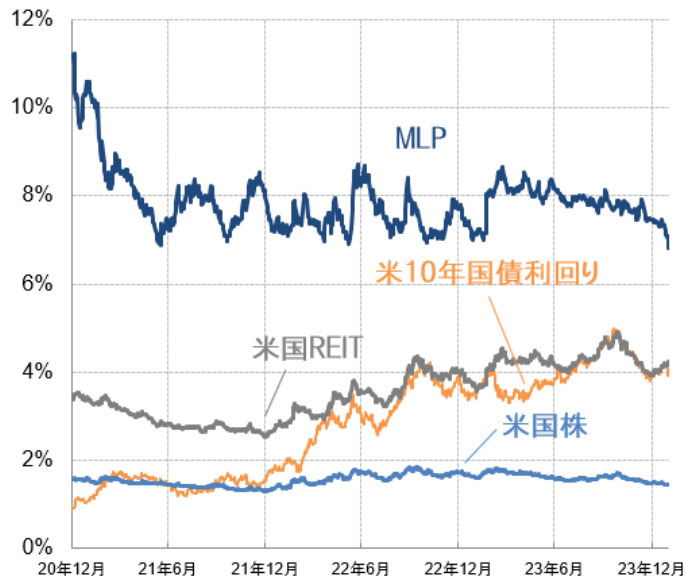
## 《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2020年末=100)



MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年12月末～2024年1月末

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み。MLP、米国株、米国REITはブルームバーグ集計の予想配当利回り

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

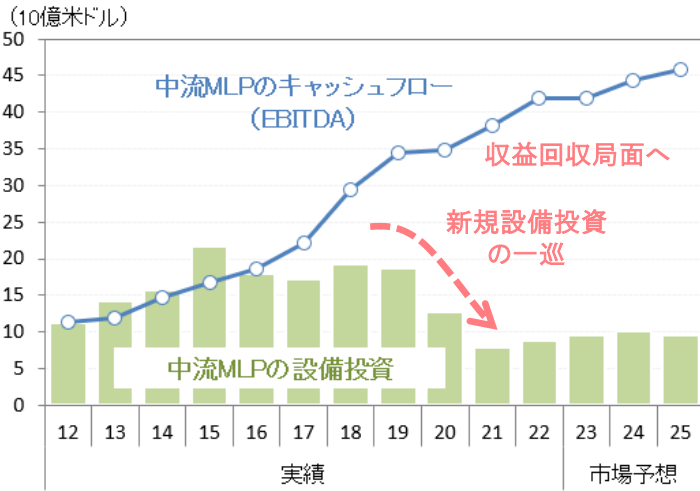


当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

## 《MLPの利益と配当動向》

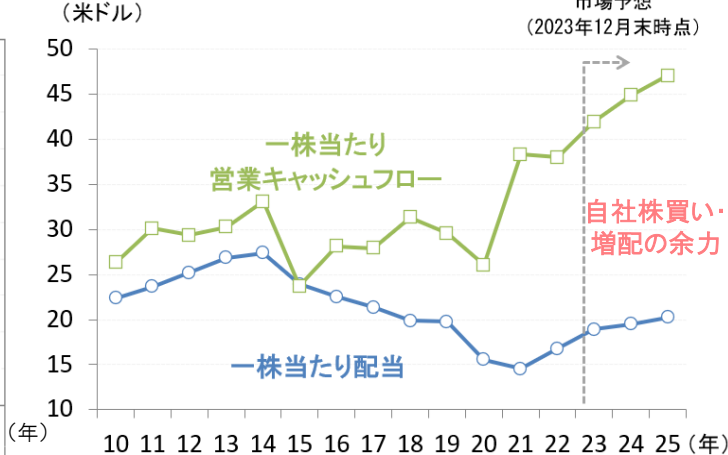
- 中流MLPのビジネスモデルは、過去においてはレバレッジを活用してインフラ投資を積極的に行い、成長を追求するというものでしたが、足元ではすでに設備が十分に構築されており、各企業は創出されたキャッシュフローを負債の削減に活用する一方、自社株買いや増配にも充当するモデルにシフトしています。
- 一株当たり営業キャッシュフローも増加することが予想されており、今後は、自社株買いや緩やかな増配の余力が高まることが期待されています。

### 【MLPの利益と設備投資額の推移】



(出所)ファクトセット (期間)実績:2012~2022年、予想:2023~2025年  
 ※集計対象は中流MLP17銘柄  
 ※予想は、ファクトセット集計の市場予想(2023年12月末時点)

### 【MLPの一株当たり営業キャッシュフロー・配当の推移】



(出所)ファクトセット (期間)実績:2010~2022年、予想:2023~2025年  
 ※集計対象はアリアンMLP指数採用銘柄  
 ※予想は、ファクトセット集計の市場予想(2023年12月末時点)

## 《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

- (1月11日)自動車燃料販売会社のSunoco LP(SUN)はセブン&アイ・ホールディングスにコンビニエンスストア計204店舗を売却することで合意。売却額は約10億米ドル。
- (1月17日)天然ガスの川中サービスを手掛けるONEOK社(OKE)は今後4年間で実施予定の20億米ドルの自社株買いプログラムを承認。
- (1月22日)Sunoco LP(SUN)は、主に石油製品と再生可能燃料の輸送を手掛けるNuStar Energy LP(NS)の買収で合意。買収額は約73億米ドル。取引は2024年第2四半期に完了見込み。
- (1月26日)米バイデン政権は気候変動への影響などを精査するため、液化天然ガス(LNG)の新規輸出認可を一時停止すると公表。

## 《2023年10-12月期の決算状況》

- 1月より米国MLP・中流エネルギー企業の2023年10-12月期の決算発表が始まりました。現時点で、以下の発表済みの主要MLP・中流エネルギー企業の利益(調整後EBITDA)は、各社によってまちまちの結果となっています。

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

米国MLP・中流エネルギー企業の2023年10-12月期の決算状況

No.	銘柄名	公表日	調整後EBITDA	前年比	市場予想対比
1	Kinder Morgan社	1/17	19.3億米ドル	-1.6%	下回る
2	MPLX LP	1/30	16.2億米ドル	11.6%	上回る

(出所)各種報道等 ※2024年1月末時点

- 米国MLP・中流エネルギー企業は2023年10-12月期の配当の発表を開始。以下の配当発表済みの主要MLP・中流エネルギー企業については、概ね、前年比で配当を維持、または引き上げる傾向。

米国MLP・中流エネルギー企業の2023年10-12月期の配当動向

No.	銘柄名	公表日	配当伸び率		予想配当 利回り
			前期比	前年比	
1	Plains All American Pipeline LP	1月8日	+18.7%	+18.7%	8.2%
2	Enterprise Products Partners LP	1月8日	+3.0%	+5.1%	7.7%
3	Antero Midstream社	1月10日	±0%	±0%	7.4%
4	Genesis Energy LP	1月11日	±0%	±0%	5.2%
5	Kinder Morgan社	1月17日	±0%	+1.8%	6.7%
6	ONEOK社	1月17日	+3.7%	+3.7%	5.8%
7	Targa Resources社	1月18日	±0%	+42.9%	2.4%
8	Western Midstream Partners LP	1月22日	±0%	+15.0%	8.0%
9	MPLX LP	1月24日	±0%	+9.7%	8.8%
10	Energy Transfer LP	1月25日	+0.8%	+3.3%	8.8%
11	Cheniere Energy Partners LP	1月26日	+0.5%	-3.3%	7.8%
12	Williams社	1月30日	+6.1%	+6.1%	5.5%

(出所)ブルームバーグ、各種報道等 ※2024年1月末時点

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。